

《五〇周年記念》

二〇〇八年原水爆禁止国民平和大行進

北海道・市区町村実行委員会実施要綱

二〇〇八年三月十八日

二〇〇八年原水爆禁止国民平和大行進北海道実行委員会

一、核兵器廃絶、非核平和の日本めざして―半世紀の伝統を受け継ぎ前進しよう

一九五八年に開始された原水爆禁止国民平和大行進は、今年、五〇周年を迎えます。初心を生かした国民的な行動として、草の根の平和の願いを広島・長崎へとつなぐ五〇周年記念の平和行進として大きく成功させましょう。

この半世紀にわたって、平和行進は一緒に『歩く』という誰でも参加できる行動として、全国・全道の八割にちかひ市町村自治体を網羅し、毎年十万余人が参加する国民的行動に定着・発展し、核戦争阻止、核兵器全面禁止・廃絶、被爆者援護・連帯の活動を被爆者とともに築き、ゆるぎのない世論と運動を創り出す原動力です。今年、広島・長崎で開かれる二〇〇八年原水爆禁止世界大会の成功にむけて総結果いたします。

北海道は、全国十一縦断幹線コースのうちの【礼文島から東京都・上野寛永寺まで（五月六日出発／七月二・四日集結）（北海道／東北・北陸・関東コース）】と【道内・網の目六コース（五月六日／五月三十一日・函館集結／別表参照）】で実施いたします。今年は五月初旬の祝祭日調整で自治体訪問を関連コースで事前の行動が行われます。

五〇周年を新たな出発点として、二〇一〇年NPT（核兵器の不拡散に関する条約）再検討会議にむけて、「核兵器のない平和で公正な世界を」の声を内外に響かせるとともに、非核三原則と憲法九条を守る世論をひろげ、「洞爺湖サミット」（七月）が核兵器廃絶をとりあげるよう道民・国民世論を高めましょう。

二、日程・コース

全国幹線コース【五月六日／礼文島（出発式）】を始め道内の網の目・六コース（別表参照）で実施します。

三、名称

五〇周年記念・二〇〇八年原水爆禁止国民平和大行進

四、主催

〔掲唱〕原水爆禁止世界大会実行委員会【主催】二〇〇八年原水爆禁止国民平和大行進中央実行委員会

〔共催〕二〇〇八年原水爆禁止国民平和大行進北海道実行委員会と各地域・市区町村実行委員会の共同実施。

五、メイン・スローガン

- ◇核兵器のない平和で公正な世界をめざしてともに歩こう！
- ◇核兵器保有国は、核兵器廃絶の「明確な約束」を実行せよ！
- ◇憲法九条と非核三原則を守ろう！ ◇非核日本宣言を實現しよう！
- ◇洞爺湖サミットに核兵器廃絶を求めよう！
- ◇広島・長崎の被爆者、世界の核実験被害者と連帯しよう！
- ◇原爆症認定制度の抜本的改善を行え！
- ◇原爆症認定をを求めるすべての被爆者を認定せよ！
- ◇北海道原爆症認定訴訟で全員が勝訴しよう！
- ◇原水爆禁止二〇〇八年世界大会を成功させよう！
- ◇ノーモア・ヒマシマ！ノーモア・ナガサキ！ノーモア・ヒバクシヤ！

§ 《メイン・サブ・スローガン》は出発時に、情勢の変化や地域の実情を反映・補強いたします。

〔次頁へ〕